

近畿圏パーソントリップ調査の実施について

国土交通省及び近畿圏の2府4県4政令市では、10年に一度の交通に関する調査（近畿圏パーソントリップ調査）を実施いたします。この調査は、皆様の交通手段の利用状況や、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う活動頻度の変化等もあわせて把握することを目的として実施するものです。調査結果は、将来のまちづくり、交通計画、防災対策等を検討するための大切な情報となります。

調査期間： 令和3年9月から11月

調査方法： インターネット及び郵送による調査

※ご回答者様の負担軽減や環境にやさしいペーパーレス化のため、できるだけインターネットでの回答にご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う活動頻度の変化等に関する調査は、インターネットのみで実施しております。

調査対象地域： 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市のうち、無作為に抽出した約44万世帯（5歳以上が対象）

※調査票が届いた方が調査対象者です。

調査主体： 国土交通省近畿地方整備局

滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・京都市・大阪市・堺市・神戸市



政府統計

教えてください、



あなたの**1日**の動き。



このまちを、もっと安全に、もっと快適に。

近畿圏

パーソナル トリップ



調査



活動の場所や移動手段など、みなさまの1日の動きをお聞きし、
交通対策や防災計画、環境改善など、より安全でより快適なまちづくりに活かしていきます。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う活動頻度の変化等に関する調査もあわせて行います。

調査地域：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

調査対象者：調査地域の全世帯約936万世帯のうち無作為に選ばれた
約44万世帯(5歳以上が対象) ※調査票が届いた方が調査対象者です。

調査
期間

令和3年 9月 ▶▶ 11月

京阪神都市圏交通計画協議会



調査票が届いた方が調査対象者です。
スマートフォンやタブレットなどを用いて
インターネットで簡単に回答できます。

本調査は、郵送により届いた調査票、インターネットの
どちらからでも回答できます。
ご家庭に調査票が届いた場合は、本調査への回答に
ご協力をお願いします。

京阪神都市圏交通計画協議会とは、京阪神都市圏内の国土
交通省、府県・政令指定都市及び関係機関において設立された、
京阪神都市圏における総合的な都市交通計画の推進に必要な
調査研究を行う組織です。

京阪神都市圏は、京都市・大阪市・堺市・神戸市の大都市や大津
市・奈良市・和歌山市などの中核都市が共存する多核型の都
市圏です。

<https://kinki-pt.jp>

近畿PT

検索

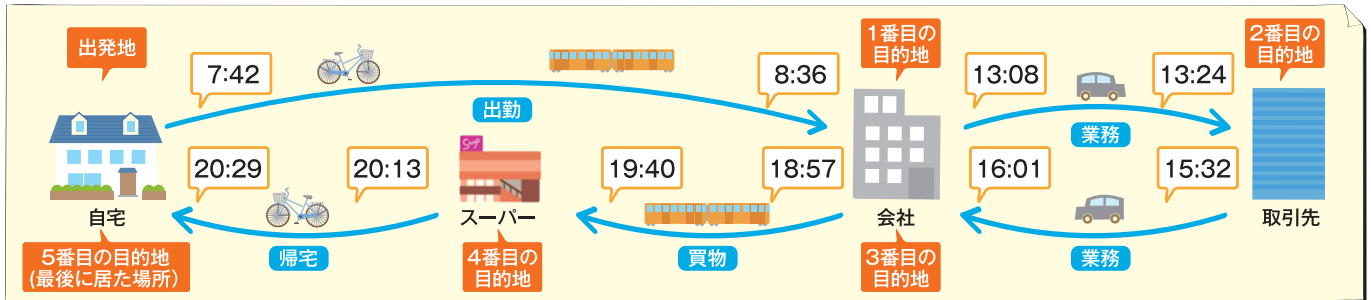
パーソントリップ調査とは

人が1日に行った

「活動」(どこで、何をしたか)と「移動」(いつ、どのような交通手段を利用したか)

について調査し、近畿圏全体の人の移動の実態を把握するものです。

近畿圏パーソントリップ調査は、昭和45年以降概ね10年毎に実施しており、今回で第6回目を迎えます。



調査結果は、どのように使われているの？

調査結果は、交通分野・観光地域活性化分野・防災分野など、様々な分野で活用され、

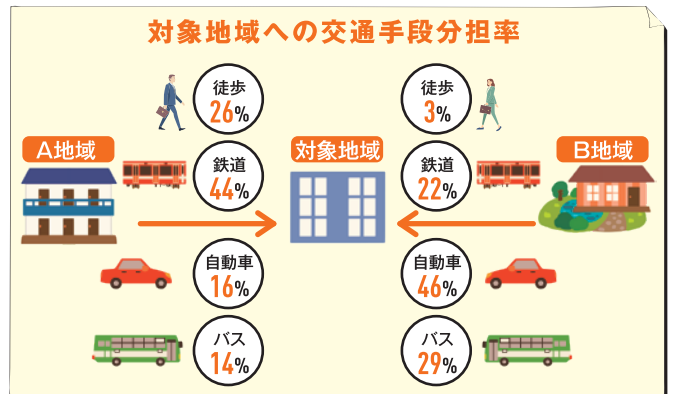
安全で快適なまちづくりのための貴重な情報となります。その中から、具体的な例をご紹介します。

交通

開発による交通への影響の検討

ある地域に、どれだけの人が、どのような交通手段で集まっているのかが分かります。

道路混雑の解消や快適に通行できる生活環境づくり、自転車や歩行者が安全で快適に通行できる空間づくり、駐車場・駐輪場の計画などに活用できます。



四条通歩道拡幅(京都市)



駅前広場の計画・整備(明石市)

他にも、こんな分野で活用されています。

- 福祉分野では 高齢者の外出支援施策が必要な地域の選定
- 環境分野では 自動車などのCO₂排出量の予測に
- 防災分野では 大規模災害時の帰宅困難者の予測に
- 都市開発分野では 来訪者の特性を踏まえたマーケティング戦略の検討

観光地域活性化

路線バス網の計画

現在の交通網とその利用状況から、バス本数の過不足などの問題点が把握できます。

利便性の高い路線バス網の計画に活用できます。

